

1985年核データ研究会準備会第2会合議事録

日 時 昭和60年4月11日(木)

場 所 原研東海研究所 研2-222号室

出席者 大竹, 梶山, 中嶋, 松延, 吉田, 長谷川, 水本, 浅見, 中川, 五十嵐

配布資料

1. 前回議事録
2. IAE (中国) 蔡氏からの手紙
3. First Circular on 1985 Seminar on Nuclear Data
4. Circular 配布リスト

I 前回議事録確認

承認された。

II 外国への案内について

資料3, 4により, アジア地域へ案内を出したことが報告された。

これに関連して, 原田委員長が3月末に中国を訪問した際, 中国側から4名の出席を予定していることが伝えられたとの報告があった。

中国側へは中国からの講演テーマ及び講演者を問い合わせることにした。

III 講演テーマ及び講演候補者

前回会合で内定した主要テーマごとに以下の候補者を挙げた。

1. 絶対測定と相対測定:

工藤氏 (電総研) Neutron Fluence

中沢氏 (東大) Activation Standard

Boldeman (オーストラリア) ^{252}Cf の $\bar{\nu}$

Kapoor (インド) ^{235}U の fission fragment anisotropy

平川氏 (東北大), 神田氏 (九大), 白土氏 (立大), 加藤氏 (名大),

水本氏 (原研)

2. シグマ研究委員会ワーキンググループ活動

積分テストと核データ評価……………竹田氏（阪大）、重核データW.G

FP核データの積分テストと核データ評価……………FP W.G

Threshold reaction data の評価……………飯島氏（NAIG）

Decay heat の問題……………秋山氏（東大）

3. 核融合炉への核データの応用……………JENDL-3PR1, -PR2 の検討会（7月予定）のまとめから。

4. トピックス

(1) Delayed neutron spectra ……岡野氏（京大炉）

(2) 最近の核反応理論及び模型……………河合氏（九大）、寺沢氏（東大）、岩本氏（原研）の中から1名に依頼。

5. ポスターセッション

測定施設：候補として以下の機関を挙げた。

東北大，東大工，原研，東大核研，武工大，東工大，名大，阪大工，

京大炉，九大，筑波大，電総研，高エネルギー研，立大，

参加の可否を問い合わせる。

IV 講演候補者への連絡分担

連絡分担を以下のように決めた。

梶山氏……………工藤，中沢，平川，加藤の各氏へ

五十嵐氏……………神田，白土，河合，寺沢，水本の各氏へ

長谷川氏……………竹田氏へ

吉田氏……………FP W.G 及び飯島氏へ

中嶋氏……………Decay heat グループへ

浅見氏……………岡野氏へ

V その他

講演時間は20～40分で，英語で行う。講師からの返事を5月末までにもらう。

今回は5月31日（金）東京で開き，プログラムの第一次業を作る。原田氏に出

席を依頼する。シグマ委員会本委員会後に学会誌にアナウンスをのせてもらう。